

2022 会 告 No.9

◇通知・案内事項

○化学工学会第53回秋季大会 参加募集 概要…………… 本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2022)	(2023)
◇年会		3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会	9/14～16(信州大学)	9/11～13(福岡大学)
◇支部大会	11/9～10(新潟大会)	
◇学生発表会		

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ペー ジ
2022年9月 September			
5	「プロセス設計」講座 塔・槽, 熱交換器の設計 編(9/5, 6, 12, 13)(オンライン)		7号9
5	超臨界流体部会 第21回 サマースクール「エネルギー・環境問題に挑戦する超臨界流体・CO ₂ 分離貯留技術」(東京都/オンライン)		8号12
5～27	第26回基礎化学工学講習会(9/5・6・12・13・26・27)(東京都)		8号13
7	第3回リスクに基づくプロセス安全入門(オンライン)		7号11
13	第23回反好会(反応工学部会若手会)講演会(長野県/オンライン)	9月6日(火)	本号13
14～16	化学工学会第53回秋季大会(長野県)		本号8
20	第30回東北支部若手の会セミナーーものづくりに向けた現象理解と観察技術ー(岩手県)	9月2日(金)	8号12
20～21	第27回東北ジョイント夏季セミナー(岩手県)	9月2日(金)	8号12
25	Chemical-Energy-Car Competition 2022 Autumn(オンライン)		7号9
26～27	材料化学システム工学討論会2022(オンライン)	9月21日(水)	本号13
27～28	粉体技術者養成講座 第1回【乾燥】(静岡県)		7号10
27～29	2022年度 基礎化学工学講習会(広島県)	9月9日(金)	本号16
29	2022年度 開発型企業の会 第2回技術交流・WEB見学会(オンライン)	9月16日(金)	本号12
30～10/1	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」習志野セッション(千葉県)		6号12
2022年10月 October			
1	化学工学技士(基礎)試験(北海道, 宮城県, 群馬県, 東京都, 神奈川県, 静岡県, 愛知県, 京都府, 大阪府, 岡山県, 広島県, 山口県, 徳島県, 福岡県, 宮崎県, 鹿児島県の予定)		6号11
4	第27回実践化学工学講座(10/4, 14, 19, 28, 11/8, 18, 22, 12/1, 13, 22)(オンライン)	9月9日(金)	7号12
6～7	「レイアウトとプロットプランの考え方」講座(東京都)	9月28日(水)	8号9
11～12	入門触媒科学セミナー(大阪府)	9月15日(木)	7号13
14	「プロセス設計」講座 プロセス基本制御とPFD作成 編(10/14, 18)(オンライン)	10月7日(金) 9:00	8号9
15	上席化学工学技士 面接試験【三次】(オンライン)		6号9
24	第18回分離プロセス基礎講座 固液分離工学ー基礎と応用ー (大阪府)		7号10
27	第2回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ「バイオ技術者のための実践基礎講習」(11/1)(オンライン)		本号15
27～28	粉体技術者養成講座 第2回【混合・混練】(千葉県)		7号10
28	2022年度 マイクロ化学プロセス分科会 講演会(千葉県)	10月14日(金)	本号13
28～29	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」関西セッション(兵庫県)		6号12

2022年11月 November			
1	第54回CEシリーズ講習会「プロセス・インフォマティクスの基礎と産業への展開」 (東京都/オンライン)	10月25日(火)	本号14
1~2	粉体技術者養成講座 第3回【粒子加工】(静岡県)		7号10
9~10	化学工学会新潟大会(新潟県)		8号13
9~11	「プラント計装制御-1」講座(東京都)	11月1日(火)	8号10
11~12/9	第9回初歩からの化学工学数学演習講座～データ解析および時系列データ分析の基礎～ (オンデマンド)	12月2日(金)	本号14
16~18	「P&IDの作り方」講座(東京都)	11月8日(火)	8号10
17~18	第56回化学工学の進歩講習会「脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来」 (愛知県/オンライン)	11月4日(金)	本号15
24~25	ナノ材料の表面分析講習(大阪府)	11月2日(水)	7号13
24~25	「モデリング技術の基礎と実践」講座(東京都)	11月16日(水)	8号11
25~26	第48回経営ゼミナール「明日の日本を私が創る ～VUCA時代を牽引せよ!～」 幕張セッション(千葉県)		6号12
2022年12月 December			
13~14	粉体技術者養成講座 第4回【集じん】(愛知県)		7号10
2023年1月 January			
12~13	粉体技術者養成講座 第5回【粉碎】(広島県)		7号10
2023年2月 February			
2~3	粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		7号10

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
10月25～28日	「第6回革新的エネルギー材料・プロセス国際会議(IMPRES2022)」 The 6th International Symposium on Innovative Materials and Processes in Energy Systems(IMPRES2022)		4号16
12月2～4日	33th International Symposium on Chemical Engineering (ISChE) (第33回化学工学に関する国際シンポジウム (ISChE2022))		8号14

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp https://jstc.jp/exam/examination/
2022年度計算力学技術者(CAE技術者)資格認定事業 (全国/上級試験はオンライン)	6月22日～ 12月9日(水～金)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7616 caenintei@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/cee/
令和4年度クリーン・コール・デー記念行事(国際会議等) (東京都内を中心に全国の石炭博物館等)	8月1日～9月16日 (月～金)	クリーン・コール・ デー実行委員会 (鉄鋼連盟, セメント協会, 製紙連 合会, 電源開発, 石炭フロンティア 機構)	03-6402-6100 (03-6402-6110) jkamada@jcoal.or.jp http://www.jcoal.or.jp/

第44回安全工学セミナー(東京都/オンライン)	8月24日～ 2023年1月27日 (水～金)	特定非営利活動法人 安全工学会	03-6206-2840 (03-6206-2848) jsse-2004@nifty.com https://www.jsse.or.jp/multidatabases/multidatabase_contents/detail/1165/91aac9eb744225864d7f4e79fe842306?frame_id=991
第59回炭素材料夏季セミナー(京都府)	9月1～2日(木～金)	炭素材料学会 次世代の会	075-383-7049 (075-383-2488) myzkohei@elech.kuic.kyoto-u.ac.jp http://elech.kuic.kyoto-u.ac.jp/tanso-summer/index.html
第16回水素若手研究会(沖縄県)	9月5～6日(月～火)	水素若手研究会事務局	070-5301-0150 hydrogen.wakate@gmail.com https://sites.google.com/view/hydrogen-wakate/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0
第32回マイクロエレクトロニクスシンポジウム(大阪府)	9月5～7日(月～水)	一般社団法人 エレクトロニクス実装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) mes2022@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/mes/mes2022/index.php
「資源・素材2022(福岡)」 - 2022年度資源・素材関係学協会合同秋季大会 - (福岡県)	9月6～8日(火～木)	一般社団法人 資源・素材学会	03-3402-0541 (03-3403-1776) info@mmij.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/mmij2022b/top?lang=ja
KISTEC教育講座「MI×データ科学」(オンライン)	9月6～14日 (火～水)	地方独立行政法人 神奈川県立産業技術総合研究所 (KISTEC)	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/researcher/mibydatascience/
2022年度工学教育研究講演会(東京都)	9月7～9日(水～金)	日本工学教育協会, 関東工学教育協会	03-5442-1021 (03-5442-0241) 2022_jsee_conference@jsee.or.jp https://confit.atlas.jp/guide/event/jsee2022/top
2022年度日本冷凍空調学会年次大会(岡山県)	9月7～9日(水～金)	公益社団法人日本冷凍空調学会	03-5623-3223 (03-5623-3229) y.uda.pa@jsrae.or.jp https://www.jsrae-nenji.org/nenji2022/
第46回静電気学会全国大会(沖縄県/オンライン)	9月7～10日 (水～土)	静電気学会	03-3815-4171 (03-3868-3339) iesj@iesj.org http://www.iesj.org/academic/zenkoku/
講習会『伝熱工学資料(改訂第5版)』の内容を教材にした熱設計の基礎と応用(オンライン)	9月8～9日(木～金)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7611 (03-4335-7618) ogura@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/22-68/
講演会「2050年カーボンニュートラルに向けた化学業界の取組み」(オンライン)	9月9日(金)	日本化学会関東支部	03-3292-6163 kanto@chemistry.or.jp https://kanto.csj.jp/event/2022/06021408332365/
第31回成形加工テキストセミナー(東京都/オンライン)	9月9日(金)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp
The 22nd International Vacuum Congress (IVC-22) (北海道)	9月11～16日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) ive22@jvss.jp https://ivc22.org/

地盤技術フォーラム2022(東京都)	9月14～16日 (水～金)	産経新聞社	03-3273-6180 (03-3241-4999) info2022@sgrte.jp http://www.sgrte.jp/
第38回ファジィシステムシンポジウム(FSS2022) (東京都)	9月14～16日 (水～金)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) fss2022_committee@mlsv.kochi-tech.ac.jp http://fss.j-soft.org/2022/
日本マイクログラフィティ応用学会 第34回学術講演会(JASMAC-34)(愛媛県)	9月14～16日 (水～金)	日本マイクログラフィティ応用学会	090-9810-1430 (04-2959-9143) office@jasma.info http://www.jasma.info/jasmac-34/
スケジューリング・シンポジウム2022(東京都)	9月16～17日 (金～土)	スケジューリング学会	052-832-3295 office@scheduling.jp http://www.scheduling.jp/symposium/2022/
第39回センシングフォーラム 計測部門大会(東京都)	9月21～22日 (水～木)	計測自動制御学会	03-3292-0314 (03-3292-0314) masahiro_fujiwara@ipc.i.u-tokyo.ac.jp https://www.sice.or.jp/s_forum/s_forum_sf39.html
SPring-8シンポジウム2022(兵庫県)	9月25～26日 (日～月)	SPring-8ユーザー協団体(SPRUC), 高輝度光科学研究センター	0791-58-2785 (0791-58-2786) sp8sympo2022@spring8.or.jp http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2022/sp8sympo2022/
日本流体力学会年会2022(京都府)	9月27～29日 (火～木)	日本流体力学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) info@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/nenkai2022/
「食品ハイドロコロイドセミナー2022」 「第33回食品ハイドロコロイドシンポジウム」(京都府)	9月29～30日 (木～金)	食品ハイドロコロイド研究会	03-5463-0581 (03-5463-0581) sympo@food.hydrocolloids.org https://sites.google.com/view/food-hydrocolloid-org
第11回反応性プラズマ国際会議/ 第75回気体エレクトロニクス会議(宮城県)	10月3～7日 (月～金)	第11回反応性プラズマ国際会議組織委員会	022-795-7116 icrp-11@grp.tohoku.ac.jp https://www.ecei.tohoku.ac.jp/plasma/ICRP-11/
第73回白石記念講座(東京都)	10月7日(金)	日本鉄鋼協会	03-3669-5933 (03-3669-5934) kuriyama@isij.or.jp https://isij.or.jp/event/event2022/shiraishi73.html
腐食防食部門委員会第344回例会(京都府)	10月11日(火)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第8回材料WEEK(京都府)	10月11～14日 (火～金)	日本材料学会	075-761-5321 (075-761-5325) jimu@office.jsms.jp https://www.jsms.jp/
第57回真空技術基礎講習会(大阪府)	10月11～14日 (火～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) office@jvss.jp https://www.jvss.jp/jpn/activities/18/detail.php?eid=00004
第16回 日本電磁波エネルギー応用学会シンポジウム-環境問題・エネルギー問題の解決のための最先端熱利用技術(仮)-(東京都/オンライン)	10月12～14日 (水～金)	日本電磁波エネルギー応用学会	03-3414-4554 (03-3414-4554) office@jemea.org https://www.jemea.org/?p=53823

第70回レオロジー討論会(石川県)	10月13日～14日 (木～金)	日本レオロジー学会, 日本バイオレオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
ALC'22 (14th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices'22) (沖縄県)	10月16～21日 (日～金)	日本表面真空学会	03-3812-0266 (03-3812-2897) alc@jvss.jp https://www.jvss.jp/division/mba/alc/alc22/
第5回 新エネルギー・水素部会 シンポジウム グリーンイノベーションへの挑戦(東京都)	10月17日(月)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) tsunasawa_jie1921@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/863/
ケミカル マテリアル Japan 2022 - ONLINE - (オンライン)	10月17～28日 (月～金)	(株) 化学工業日報社	03-3663-7936 (03-3663-7861) cmj@chemicaldaily.co.jp https://www.chemmate.jp/exhibit_2022/
第41回電子材料シンポジウム(EMS-41)(奈良県)	10月19～21日 (水～金)	電子材料シンポジウム運営・実行委員会	03-5841-3840 (03-5841-3862) ems41-query@ems.jpn.org https://ems.jpn.org/
第59回石炭科学会議(北海道)	10月20～21日 (木～金)	一般社団法人日本エネルギー学会	03-3834-6456 (03-3834-6458) sekitan59sanka@jie.or.jp https://www.jie.or.jp/publics/index/850/
第70回プラスチックフィルム研究会講座(東京都)	10月25日(火)	高分子学会 プラスチックフィルム研究会	03-5540-3770 (03-5540-3737) resg2@spsj.or.jp https://member.spsj.or.jp/event/
第43回日本熱物性シンポジウム(和歌山県)	10月25～27日 (火～木)	日本熱物性学会	086-251-8046 (086-251-8266) jstp@okayama-u.ac.jp http://jstp-symp.org/symp2022/
JST 未来社会創造事業 本格研究所課題 「製品ライフサイクル管理とそれを支える革新的解体技術開発による統合循環生産システムの構築」公開シンポジウム 物理分離技術とライフサイクル評価の革新 - 循環型社会実現のために - (東京都)	10月28日(金)	JST 未来社会創造事業 本格研究所課題グループ(研究代表 早稲田大学理工学術院 所 千晴), 早稲田大学オープンイノベーション戦略研究機構	03-5286-3320 (03-5286-3491) n.yamauchi@kurenai.waseda.jp http://www.tokoro.env.waseda.ac.jp/
第17回エレクトロヒートシンポジウム<WEB開催> (オンライン)	11月1～30日 (火～水)	一般社団法人日本エレクトロヒートセンター	03-5642-1733 (03-5642-1734) nakatani@jeh-center.org https://www.jeh-center.org/17thEHsympo.html
8th International Conference for Ion Exchange (ICIE2022)(東京都)	11月4～7日 (金～月)	日本イオン交換学会	03-3238-3370 icie2022@jaie.gr.jp http://www.jaie.gr.jp/icie2022/index.html
日本膜学会「膜シンポジウム2022“膜を学ぶ・膜に学ぶ”」 (兵庫県)	11月9～10日 (水～木)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/symposium/
第35回日本吸着学会研究発表会(長野県)	11月10～11日 (木～金)	日本吸着学会	03-6824-9370 (03-5227-8631) adsorption-post@bunken.co.jp https://www.j-ad.org/annual-meeting/
第13回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(徳島県)	11月14～16日 (月～水)	日本機械学会	03-4335-7614 mnm2022@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/conference/mnm2022/

The 7th International Conference on the Characterization and Control of Interfaces for High Quality Advanced Materials (ICCCI2022) (山梨県)	11月15～18日 (火～金)	粉体工学会	045-339-3959 (045-339-3957) iccci2022@ynu.ac.jp http://ceramics.ynu.ac.jp/iccci2022/
2022合同WEB討論会～第46回電解技術討論会 ーソーダ工業技術討論会ー, 第42回水素エネルギー協会大会, 2022 HESS 特別講演会～(東京都/大分県/オンライン)	11月17～30日 (木～水)	(一社)水素エネルギー協会, (公社)電気化学会 電解科学技術委員会	2022hess-ecsj@hess.jp https://confit.atlas.jp/hesssecsj2022
第60回燃焼シンポジウム(東京都)	11月21～24日 (月～木)	一般社団法人日本燃焼学会	03-5841-6580 sympo60@combustionsociety.jp http://www.combustionsociety.jp/sympo60/
第38回ニューメンブレンテクノロジーシンポジウム2022 (オンライン)	11月21～25日 (月～金)	一般社団法人日本膜学会, 一般社団法人日本能率協会	03-3434-5512 (03-3434-5505) tech-con@jma.or.jp https://school.jma.or.jp/membrane/
第1回鉄鉱石塊成鉱に関する国際シンポジウム/ 英語名: The 1st International Symposium on Iron Ore Agglomerates (SynOre2022) (鳥根県)	11月22～25日 (火～金)	一般社団法人日本鉄鋼協会	03-6369-9995 (03-3453-1258) y-amano@issjp.com https://synore2022.com/
第43回ドライプロセス国際シンポジウム(DPS2022) (大阪府)	11月24～25日 (木～金)	第43回ドライプロセス国際シンポジウム組織委員会	070-5268-6664 dps2022@officepolaris.co.jp http://www.dry-process.org/2022/
第41回溶媒抽出討論会(東京都)	11月24～25日 (木～金)	日本溶媒抽出学会	03-5734-3845 takeshita.k.ab@m.titech.ac.jp http://www.solventextraction.gr.jp/symposium/
第30回秋季大会(京都府)	11月28～29日 (月～火)	プラスチック成形加工学会	03-5436-3822 (03-3779-9698) plakakou@sand.ocn.ne.jp https://www.jspp.or.jp/
SCIS & ISIS2022(三重県)	11月29日～ 12月2日(火～金)	日本知能情報ファジィ学会	0948-24-3355 (0948-24-3356) scisis2022+info@gmail.com http://scis.j-soft.org/2022/
第38回ゼロライト研究発表会(徳島県)	12月1～2日 (木～金)	一般社団法人日本ゼロライト学会	088-656-7429 (088-656-7429) kato@tokushima-u.ac.jp https://jza-online.org/events/
第42回レオロジー講座ー基礎と測定法ー(京都府)	12月5～6日 (月～火)	日本レオロジー学会	075-315-8687 (075-315-8688) office@srj.or.jp http://www.srj.or.jp/gyoji
第36回分子シミュレーション討論会(東京都)	12月5～7日 (月～水)	分子シミュレーション学会	03-5734-3373 (03-5734-3372) akitao@bio.titech.ac.jp https://sympo.mol-sim.jp/mssj36/
メンテナンス・レジリエンス OSAKA 2022(大阪府)	12月7～9日 (水～金)	一般社団法人日本能率協会	03-3434-1988 (03-3434-8079) mente@jma.or.jp https://www.jma.or.jp/mente/osaka/
国際粉体工業展東京2022(東京都/オンライン)	12月7～9日 (水～金) (オンライン会期: 11月21日～2023年 1月27日(月～金))	一般社団法人日本粉体工業技術協会	03-5297-8855 (03-5294-0909) info2022@powtex.com https://www.powtex.com/tokyo/
第49回炭素材料学会年会(兵庫県)	12月7～9日 (水～金)	炭素材料学会	(03-5227-8632) tanso-desk@conf.bunken.co.jp http://www.tanso.org/contents/event/conf2022/index.html (予定)

Grand Renewable Energy 2022 International Conference (オンライン)	12月13～20日 (火～火)	Grand RE2022 国際 会議 組織委員会	090-7178-0029 (03-5294-0909) iked071@s7.dion.ne.jp https://www.grand-re2022.org
第36回数値流体力学シンポジウム(オンライン)	12月14～16日 (水～金)	一般社団法人 日 本流体力学学会	03-3714-0427 (03-3714-0434) cfd36@nagare.or.jp https://www2.nagare.or.jp/cfd/cfd36/
第35回自律分散システム・シンポジウム(大阪府)	2023年1月22～ 23日(日～月)	計測自動制御学会 システム・情報部 門	03-3292-0314 (03-3292-3145) bumon@sice.or.jp https://sites.google.com/sice-das.org/das35th/
第39回エネルギーシステム・経済・環境コンファレンス (東京都)	2023年1月 26～27日(木～金)	一般社団法人エネ ルギー・資源学会	06-6446-0537 (06-6446-0559) okabe@jser.gr.jp https://www.jser.gr.jp/
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技 術国際会議 (ISPlasma2023/IC-PLANTS2023) (岐阜県)	2023年3月5～9日 (日～木)	公益社団法人 応用 物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
混相流国際会議 2023(兵庫県)	2023年4月2～7日 (日～金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jsmf.gr.jp http://www.jsmf.gr.jp/icmf2022

化学工学会第53回秋季大会 概要

会 場：オンサイト・オンライン併用開催
 (オンサイト)信州大学 長野(工学)キャンパス
 (〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1)
 (オンライン)化学工学会オンライン学会サイト GOING VIRTUAL

会 期：2022年9月14日(水)～9月16日(金)
 (一部セッションは9月13日実施)

参 加 登 録：第三期(含む当日)2022年8月19日(金)～9月16日(金)12:00

懇 親 会：実施しません。

大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/53/>

※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

※本記事記載の各事項は変更される可能性があります。最新情報は大会webサイトにてご確認ください。

化学工学会第53回秋季大会は、2022年9月14日(水)～16日(金)の3日間、信州大学長野(工学)キャンパスおよびオンラインにて開催されます。(オンサイト・オンライン併用開催の予定です。但し新型コロナウイルス感染症の状況等により会場変更あるいはオンライン開催に変更される可能性があります。)

参加登録を9月16日(金)12:00まで大会webサイトにて受け付けますので、奮ってご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、現下の情勢から、双方向ライブ配信を併用した「オンサイト・オンライン併用開催」で計画しております。ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況等により、会場変更や「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第53回秋季大会は、「化学工学会が主催するイベントに関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

式典

日時 9月15日(木)16:00～17:00

会場 EA会場(E1棟3F会議室)

会長挨拶、優秀論文表彰式を行います。

(オーガナイザー敬称略)

化学工学ビジョンシンポジウム

第十回

グリーンイノベーションに貢献する化学工学

日時：9月14日(水)9:00～12:30

会場：AA会場(W2棟1F101)

主催：戦略企画会議

オーガナイザー：所 千晴(早稲田大学/東京大学)、西山憲和(大阪大学)、林潤一郎(九州大学)、松方正彦(早稲田大学)、安井 誠(千代田化工建設(株))

2020年に日本政府より発表された「2050年カー

ボンニュートラル」宣言を契機に、経済と環境の好循環に繋げるための日本の新たな成長戦略として、カーボンニュートラルなど環境負荷低減に向けた取り組みが更に活発化しています。現象・プロセスから地球規模までのそれぞれのスケールに応じた体系的思考に基づき、俯瞰的な視野を有する化学工学分野のグリーンイノベーションへの貢献が大きく期待されています。地球環境を回復させながら都市文明を発展させることを環境分野の目標に据えるムーンショット事業や、グリーン成長戦略を加速させる研究開発と社会実装を支援するグリーンイノベーション基金事業など、大型国家プロジェクトにおいても、実際に化学工学分野に関係する多くの研究者や技術者が活躍しています。そこで本セッションでは、そのような大型プロジェクトのいくつかを紹介し、化学工学分野への期待を改めて議論します。多様な多くの皆様の議論への参加と議論を期待します。

AA101(9:00～9:30)

[展望講演] 2050カーボンニュートラルを踏まえた化学産業の今後の方向性

(経済産業省)金井伸輔氏

AA102(9:30～10:00)

[展望講演] Cryo-DAC™冷熱を利用した大気中CO₂直接回収

(名古屋大学)則永行庸氏

AA104(10:00～10:30)

[依頼講演] カーボンニュートラル社会の実現に向けた炭素-水素循環技術の開発

(旭化成(株))鈴木 賢氏

AA105(10:30～11:00)

[依頼講演] 合成燃料によるカーボンニュートラルへの挑戦

(ENEOS(株))早坂和章氏

AA107(11:00～11:30)

[依頼講演] グリーンイノベーションにおけるエンジニアリング会社の役割と化学工学への期待

(千代田化工建設(株))森上 賢氏

AA108(11:30～12:00)

[依頼講演] JX金属のLiBリサイクルPJ概要

(JX金属(株))佐藤利秋氏

AA110(12:00～12:30)

[依頼講演] 日本鉄鋼業のカーボンニュートラルへの挑戦

(日本製鉄(株))村上英樹氏

特別シンポジウム

最新の注目テーマを、各界最前線でご活躍されている方からご説明いただき、議論します。

2050年 カーボンニュートラルへの道 (一般公開企画)

日時：9月13日(火)[会期前日]10:10～17:30

会場：EA会場(E1棟3F会議室)

主催：地域連携カーボンニュートラル推進委員会、戦略推進センター・次世代エネルギー社会検討委員会、戦略推進センター・CCUS研究会、戦略推進センター・社会実装学研究会
 共催：戦略推進センター・SDGs検討委員会、触媒学会

協賛：住友化学(株)、出光興産(株)、東ソー(株)、(株)IHI、(株)トクヤマ、日本ゼオン(株)、日揮ホールディングス(株)、(株)ダイセル、三井化学(株)

後援：日本学術会議、日本工学会アカデミー、経済産業省(申請中)、環境省、林野庁
 オーガナイザー：甘蔗寂樹(東京大学)、久保田伸彦((株)IHI)、古山通久(信州大学)、辻 佳子(東京大学)、中垣隆雄(早稲田大学)、福島康裕(東北大学)、山田秀尚(金沢大学)

化学工学会では、カーボンニュートラルの達成のために、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討と同時に、地域産業および地域コミュニティとの連携強化による具体的なケーススタディを進めております。エネルギーの脱炭素、つまり化石燃料からの脱却を進めなければならない、これは間違いありませんが、その時、私たちは石油精製からのナフサに代わるカーボンニュートラルな炭素源が必要となります。

今回は、カーボンニュートラルな炭素源として、バイオマスに焦点を当て、国内林業との連携、木質バイオマスをを用いた化学品合成技術、日本全体の産業構造の設計について議論いたします。会期前日の9月13日、参加費無料の一般公開シンポジウムとして、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施いたします。化学工学が挑む未来社会について多くの皆様と共に語り合いたいと思います。

10:10～

趣旨説明「カーボンニュートラル社会グランドデザイン策定に向けたバイオマス検討」

(東京大学)辻 佳子氏

10:20～11:00

[招待講演]木質バイオマスの利用推進に向けて

(林野庁)日比野佑亮氏

11:00～11:40

[依頼講演]グリーンリファイナリー構想

(日揮ホールディングス(株))水口能宏氏

13:20～14:00

[依頼講演] ダイセルが志民と創る「愛せる未来」
(株)ダイセル)玉垣博章氏
14:00～14:40
[招待講演] 難分解性物質リグニンの炭素循環と炭素固定における役割
(東京大学)松本雄二氏
15:00～15:40
[依頼講演] カーボンニュートラル社会の実現を目指したグリーンバイオプロセスの開発
(RITE)乾 将行氏
15:40～16:20
[依頼講演] バイオマス—再生可能炭素資源—有効活用に向けた今後の展望
(東京農工大学)伏見千尋氏
16:20～17:20
パネルディスカッション
17:20
閉会挨拶

SDGs達成に向けた札幌宣言の実行—小島嶼国の持続可能な発展への化学工学の貢献—(一般公開企画)

日時：9月16日(金)13:00～17:00
会場：AA会場(W2棟 1F 101)
主催：戦略推進センター・SDGs検討委員会
共催：システム・情報・シミュレーション部会、エネルギー部会、地域連携カーボンニュートラル推進委員会
協賛：(一社)日本化学工業協会、(公社)新化学技術推進協会、東京大学海洋アライアンス連携研究機構
後援：国際連合工業開発機関 (UNIDO)、日本学術会議
オーガナイザー：山本光夫 (東京大学)、藤岡沙都子 (慶應義塾大学)、八木 正 (三井化学(株))、松本秀行 (東京工業大学)、藤岡恵子 ((株)ファンクショナル・フルイッド)

化学工学会は、2019年9月APCCChE 2019において『国連持続可能な開発目標 (SDGs) に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—』と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的としています。

本シンポジウムでは、小島嶼開発途上国 (SIDS) が直面する課題に着目し、化学工学会内に蓄積してきた豊富な知の活用とこれまでSIDSでの技術開発に携わってきた他分野の知や取り組みとの融合による課題解決の道を探ります。具体的には、学会内外の多様な視点からの講演に続けて、パネルディスカッションおよび参加者の皆さんにも加わっていただいでる参加型のグループ討議を実施し、今後の共同の可能性を議論します。

13:00～13:05
開会挨拶
(東京大学)山本光夫氏
AA313 (13:05～13:30)
[招待講演] 大洋州地域における JICA による国際協力の取組みについて
(独)国際協力機構 (JICA)) 天池麻由美氏
AA314 (13:30～13:55)
[招待講演] 種子島における Co-learning による人と知の循環
(鹿児島大学)佐藤南帆氏・
(鳥取環境大学)下江信之介氏・
(芝浦工業大学)谷田川ルミ氏・栗島英明氏・
(千葉大学)倉阪秀史氏・宮崎文彦氏・
(東京大学)尾下優子氏・菊池康紀氏

AA315 (13:55～14:20)
[招待講演] 屋久島の水力発電とまちづくり
(屋久島町観光まちづくり課)岩川 健氏・
(屋久島電工(株))宮田 昇氏
14:30～15:15
パネル討論
15:15～16:15
グループ討議
16:15～16:45
サマリー
16:45～17:00
交流会

本部企画

日韓台合同シンポジウム

日時：9月14日(水)10:30～16:45
会場：AB会場(W2棟 4F 403)
主催：国際交流センター
オーガナイザー：後藤雅宏 (九州大学)、松山秀人 (神戸大学)、福島康裕 (東北大学)、草壁克己 (崇城大学)

本セッションは、日韓台の化学工学会が毎年交互に開催する合同シンポジウムで、講演のトピックスは特に限定せずに化学工学一般の講演から構成されます。日韓台からそれぞれの学会を代表する研究者に講演をしていただき、最先端の科学技術について討議すると共に、将来の日韓台化学工学会の交流に役に立つ関係を構築することを目的とします。

AB105 (10:30～11:00)
[Invited lecture] Drying patterns of sessile nanofluid droplets: Measurements with phase-shifting ellipsometry
(Tohoku Univ.)Shoji Eita 氏
AB107 (11:00～11:30)
[Invited lecture] Activated carbon nanospheres and Li-Cl₂ battery
(CCU)Li Yuan-Yao 氏
AB108 (11:30～12:00)
[Invited lecture] Simple Method to Improve the Electrochemical Performance of Ni-rich Cathode Materials for Use in Aqueous Li-ion Batteries
(Kyoto Univ.)Lee Changhee 氏、
Miyahara Yuto 氏、Miyazaki Kohei 氏、
Abe Takeshi 氏

AB114 (13:30～14:00)
[Invited lecture] Nanofiltration and gas permeation characteristics of TiO₂-based microporous composite membranes prepared by addition of organic chelating ligands
(Kobe Univ.)Yoshioka Tomohisa 氏
AB116 (14:00～14:30)
[Invited lecture] Stable Metal-Organic Framework-Based Materials for Electrocatalysis
(NCKU)Kung Chung-Wei 氏、Chang Tzu-En 氏、
Chiang Yi-Ting 氏、Ho Wei Huan 氏
AB117 (14:30～15:00)
[Invited lecture] Hydride Research for Rechargeable Batteries
(GIST)Kim Tae Seung 氏、Kim Sangryun 氏
AB120 (15:15～15:45)
[Invited lecture] Elucidation of bubble dynamics of acoustic cavitation in a sonochemical process
(Tohoku Univ.)Yamamoto Takuya 氏、
Komarov Sergey 氏
AB122 (15:45～16:15)
[Invited lecture] Development of lithium-ion battery electrodes using carbon fibers as current collectors
(NCU)Liu Yi-Hung 氏、Tsai Tsung-Yu 氏、

Chen Yen-Lin 氏、Lin Heng-Han 氏、
Hsu Chun-Han 氏
AB123 (16:15～16:45)
[Invited lecture] Catalytic conversions of greenhouse gases to petrochemical intermediates
(SKKU)Jung Hyun Seung 氏、
Kwon Jae Hyeon 氏、Kim Byeong Gi 氏、
Bae Jong Wook 氏

CCUS研究会シンポジウム

日時：9月15日(木)9:00～16:20
会場：AA会場(W2棟 1F 101)
主催：戦略推進センター・CCUS研究会
オーガナイザー：高橋伸英 (信州大学)、中垣隆雄 (早稲田大学)、牧野貴至 (産業技術総合研究所)、山田秀尚 (金沢大学)

CCUS研究会は、2019年10月に発足後、CO₂回収・利用・貯留技術の早期社会実装に向けて議論を重ねてきました。今回のシンポジウムでも、CCSに係る我が国のロードマップや国際的枠組みおよび法政策、コンクリート製造、電解による資源化、ブルーカーボンやバイオテクノロジー等を活用したCCUに関する最新トピックについて取り上げ、ビジョンの深掘りと共有を図ります。更に、研究会で構築を進めてきた「モデルベースのCCUS技術評価基盤」について、その進捗と展望を報告します。

AA201 (9:00～9:40)
[招待講演] 火力発電所への CCS 技術の適用に向けた取組状況について
(電源開発(株))野口嘉一氏
AA203 (9:40～10:20)
[招待講演] ロンドン条約96年議定書と海洋汚染防止法の概要
(JANAS)岸本幸雄氏

AA206 (10:40～11:20)
[依頼講演] 未利用冷熱を活用した新規燃焼排ガス中CO₂回収技術
(名古屋大学)町田 洋氏
AA208 (11:20～12:00)
[依頼講演] モデルベースのCCUS技術評価基盤構築:その進捗と展望
(応用物性研究所)大場茂夫氏

AA213 (13:00～13:40)
[招待講演] コンクリート製品によるCCU技術のCO₂削減貢献量の評価
(太平洋セメント(株))星野清一氏
AA215 (13:40～14:20)
[招待講演] 人工光合成技術をベースにした高スループット型CO₂電解セルスタックの開発
(株)東芝)水口浩司氏

AA218 (14:40～15:20)
[招待講演] ブルーカーボンを活用したCO₂の回収と貯留
(JBE)桑江朝比呂氏
AA220 (15:20～16:00)
[依頼講演] カーボンリサイクルとバイオテクノロジー
(広島大学)中島田豊氏

16:00～16:20
閉会挨拶
(CCUS研究会代表)中尾真一氏

**女性技術者ネットワーク
(一般公開企画)**

日時：9月15日(木)12:10～13:00
会場：EA会場(E1棟 3F 会議室)
主催：男女共同参画委員会

オーガナイザー：山内紀子（茨城大学）、大河内美奈（東京工業大学）

近年、それぞれの事情に応じた多様な働き方が可能となりつつあります。今回は、女性の少ない化学工学というコミュニティにおいて、同じような経験を持つ研究者や技術者とお互いの貴重な経験や悩みを共有することで、柔軟な働き方を模索し、それぞれのワークライフバランスにおいて好循環をもたらすヒントを探ります。

EA210(12:10～12:30)

[招待講演] 高分子のマイクロ相分離に基づく新材料開発

(東京工業大学) 斎藤礼子 氏

EA211(12:30～12:50)

[依頼講演] 企業における多様な人材の活躍支援の事例紹介

(三菱ケミカル(株)) 宮坂悦子 氏

12:50～13:00

意見交換

若手研究者が考える未来の化学工学研究

日時：9月16日(金)13:00～17:00

会場：AB会場(W2棟 4F 403)

主催：全国若手の会

オーガナイザー：町田 洋（名古屋大学）、須網 暁（岐阜大学）

化学工学を取り巻く環境は、様々な観点から大きく変化しつつあります。それは産業・学術的なことのみならず、研究者と学会との関わり方ということをも含むかもしれません。手法の学問である化学工学が貢献できる対象分野は益々広がると考えて間違い無いと思いますが、化学工学に新しい考え方をフィードバックすることも忘れるべきではありません。様々な分野における先進的な学術アプローチを横断的に俯瞰し、未来の化学工学研究を更なる高みへと発展させる糸口を掴めないでしょうか。本シンポジウムでは全国で活躍する若手化学工学技術者・研究者が参集し、発表者・聴講者間での双方向の意見交換を通じて未来のホットトピックスを探ります。更に、将来に向けた人脈づくりの場を提供します。

13:00～13:05

開会挨拶

AB313(13:05～13:25)

[依頼講演] 電気泳動現象を用いた土壌環境修復の試み

(北海道立総合研究機構 エネルギー・環境・地質研究所) 明本靖広 氏

AB314(13:25～13:45)

[依頼講演] 温度応答性高分子を用いた機能性ハイドロゲルへの応用

(秋田大学) 中村彩乃 氏

13:45～14:05

総合討論

AB316(14:05～14:25)

[依頼講演] 溶融晶析技術を用いた固相調製によるレバウディオシドDの溶解性向上

(サントリーホールディングス(株))

浦井聡一郎 氏・(東京農工大学) 滝山博志 氏

AB317(14:25～14:45)

[依頼講演] 共同研究を通じた複雑流体のあれこれ

(山口大学) 貝出 絢 氏

14:45～15:05

総合討論

AB319(15:05～15:25)

[依頼講演] 固体有機・無機資源の熱化学変換に関する研究

(九州大学) 工藤真二 氏

AB320(15:25～15:45)

[依頼講演] 自動車排ガス処理とCO₂の有効利用の研究

(名古屋大学) 中村真季 氏

AB321(15:45～16:05)

[依頼講演] 医薬品原薬製造を志向した連続晶析技術の開発

(塩野義製薬(株)) 田中雅巳 氏・細谷昌弘 氏・間中敦史 氏・西島尚吾 氏・津野真樹 氏

16:05～16:25

総合討論

16:25～17:00

意見交換会

部会横断型シンポジウム

ST-21 データ駆動型研究開発の最先端

日時：9月16日(金)9:00～17:00

会場：DC会場(C3棟 1F 102)

主催：反応工学部会、システム・情報・シミュレーション部会、バイオ部会、エネルギー部会、材料・界面部会

実験科学、理論科学、計算科学に続く第4の科学としてデータ科学が近年急速に発展しています。データ科学によって先導されるデータ駆動型社会を早期に実現することが国際的な協力のカギとして認識されています。本シンポジウムでは、多様な観点からデータ駆動型社会に向けて先駆的な取り組みをしている講演者に講演いただき、これからの研究開発について議論します。

ST-22 電池・エネルギー変換デバイスの新展開(口頭発表部門)

日時：9月14日(水)9:00～18:00, 9月15日(木)9:00～16:00

会場：FA会場(E2棟 2F セミナースペース)

主催：エネルギー部会、反応工学部会、システム・情報・シミュレーション部会、材料・界面部会

本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術に関する講演をナノスケール材料からシステムまで広く募集します。また今回は新展開として、「モデル開発」、「新生産プロセス」、「新エネルギー変換」についても話題提供と総合討議を予定しております。

ST-23 電池・エネルギー変換デバイスの新展開(ポスター発表部門)

日時：9月16日(金)9:00～12:00

会場：P会場(ポスター会場)

主催：エネルギー部会、反応工学部会、システム・情報・シミュレーション部会、材料・界面部会

本シンポジウムでは、燃料電池、太陽電池、二次電池等のエネルギーデバイスおよびその関連技術に関する講演をナノスケール材料からシステムまで広く募集します。

ST-24 CVD/ALD・ドライプロセスー構造・機能制御の反応工学ー

日時：9月14日(水)10:00～17:00

会場：DJ会場(C3棟 3F 301)

主催：反応工学部会、超臨界流体部会、材料・界面部会

共催：CVD研究会

CVDやALDなどのドライプロセスはエレクトロニクス、エネルギーデバイス、機能性コーティングなど様々な分野で重要な基幹技術となっています。本シンポジウムでは、ドライプロセスを利用した薄膜形成、微粒子合成、微細加工の反応メカニズムを反応工学的見地より理解し、合理的で効率的な反応プロセスや反応装置を議論します。

ST-25 分離プロセス産業セッション 2022

日時：9月16日(金)13:00～16:40

会場：DI会場(C3棟 3F 300)

主催：分離プロセス部会、反応工学部会、産学官連携センター・グローバルテクノロジー委員会

ST-26 医薬をシステムで“Reimagine”する

日時：9月14日(水)13:00～16:00

会場：AA会場(W2棟 1F 101)

主催：システム・情報・シミュレーション部会、バイオ部会

共催：国際製薬技術協会(ISPE)日本本部

社会医療費のような長期的課題、ワクチン・治療薬の安定供給のような短期的課題、再生医療・個別化医療のような先進技術課題。これらの解決のために、医薬のあるべき姿を見つめ直し、新たに想像していく(= Reimagineする)ための方法論が求められています。本シンポジウムでは、モデリング、シミュレーション、評価・最適化に関する研究に触れながら、Reimagineに向けたシステムの役割について考えます。SIS部会システム医薬分科会を取り組んできたコンパニオン診断に関する研究についてのディスカッションも予定しています。

ST-27 プラズマプロセスングの新展開

日時：9月15日(木)9:00～16:00

会場：AC会場(W2棟 5F 501)

主催：熱工学部会、エネルギー部会

プラズマプロセスングは新規材料合成や環境問題解決のための先端基盤技術として注目されており、プラズマによるナノ粒子合成、機能性薄膜の作製、表面処理、有害物質処理に加え、水素製造を含めたエネルギー分野などの幅広い分野に応用されています。本シンポジウムでは、プラズマプロセスングの基礎と応用に関する討論を基に、化学工学における新たな展開を探ります。

ST-28 プロセス強化につながる膜反応器研究の新展開

日時：9月15日(木)9:00～12:00

会場：DB会場(C3棟 1F 101)
主催：反応工学会部会、分離プロセス部会

反応と膜分離を組み合わせたプロセスは、化学平衡の制約の回避、反応収率の向上、省資源化、コンパクト化、省エネルギー化を達成可能な重要なプロセス強化技術の一つとして期待されています。本シンポジウムは依頼講演と一般講演で構成し、最前線にある膜型反応器の研究開発事例について発表いただきます。分野横断的な議論を通じ、膜開発や膜反応器の最新の研究例を通じ、今後の指針や展望について幅広く議論を行うことを目的とします。

ST-29 流動層の最前線2022

日時：9月16日(金)9:00～14:40
会場：DA会場(C3棟 1F 100)
主催：粒子・流体プロセス部会、反応工学会部会

本シンポジウムは、流動層に関する学術的・技術的な情報交換と活発な議論を目的としております。流動層の基礎から応用に至る様々な研究のご講演、更に企業での開発事業や実践的事例のご紹介などを皆様方から広く募集いたします。なお、本シンポジウムは、これまで化学工学会秋季大会とは別開催の第28回流動化・粒子プロセスシンポジウム(第17回反応装置・プロセスシンポジウム)に相当します。

ST-30 カーボンニュートラル時代に向かうバイオマスの生物化学的変換・熱化学的変換

日時：9月16日(金)13:00～16:20
会場：DH会場(C3棟 2F 203)
主催：エネルギー部会、バイオ部会

2050年の脱炭素社会に向けて、バイオマスの有効利用の重要性が増しています。バイオマスのエネルギー利用、マテリアル利用のためには、生物化学、熱化学の知見を踏まえた変換技術の提案、実験、実証、社会実装が求められます。化学工学的な観点から、バイオマスの有効利用技術に関する議論を行います。

部会シンポジウム

- 基礎物性部会
- SY-51 基礎物性部会シンポジウム
- 粒子・流体プロセス部会
- SY-52 熱物質流体工学の最前線2022
- SY-53 粉体プロセスの進展2022
- SY-54 ミキシング技術の最前線2022
- SY-55 気泡・液滴・微粒子分散工学2022
- 熱工学部会
- SY-56 熱工学部会シンポジウム
- 分離プロセス部会
- SY-57 (1)ポスターセッション(フラッシュ発表あり)
- SY-58 (2)固液分離プロセスの最先端
- SY-59 (3)イオン交換・吸着、抽出の最新技術
- SY-60 (4)分離膜・膜分離プロセス開発の最新動向
- 反応工学会部会
- SY-61 ポスターセッション(フラッシュ発表あり)

- SY-62 資源・エネルギー・環境分野における反応工学の新展開
- SY-63 新たな視点で見つめたマイクロ化学プロセス
- システム・情報・シミュレーション部会
- SY-64 革新的プロセス技術のシステム化のための解析・応用
- SY-65 プロセスシステム工学の最近の進歩
- SY-66 第21回プロセスデザイン学生コンテスト
- バイオ部会
- SY-67 生物化学工学の新潮流2022(フラッシュ発表ありポスター)
- SY-68 医工学における細胞培養の発展と化学工学的アプローチ
- SY-69 次世代バイオ分離プロセス：プロセス効率化のためのプロセス解析と理解
- SY-70 情報学のアプローチに基づく生物研究の最前線
- SY-71 食品化学工学の新展開 ～学際連携と食品科学技術の深化～
- SY-72 ポストコロナに向けた生物化学工学の新展開
- 超臨界流体部会
- SY-73 超臨界流体部会シンポジウム
- エネルギー部会
- SY-74 炭素系資源・熱利用シンポジウム
- 安全部会
- SY-75 PSMとそれを支えるRA
- エレクトロニクス部会
- SY-76 エレクトロニクス材料とプロセス技術
- 材料・界面部会
- SY-77 材料・界面討論会～革新的な材料創出と界面現象の最先端～(口頭発表部門)
- SY-78 材料・界面討論会～革新的な材料創出と界面現象の最先端～(ポスター発表部門)
- SY-79 結晶化・晶析技術最前線～基礎研究から工業化まで～
- SY-80 機能性微粒子の基礎と実用化研究
- SY-81 ソフトマター工学の次世代技術
- 環境部会
- SY-82 持続可能な社会を支える環境化学工学
- SY-83 IPCC第6次評価報告書
- 化学装置材料部会
- SY-84 化学装置材料部会シンポジウム

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第三期(含む当日) 8月19日(金)～9月16日(金)12:00まで

なお、一般公開企画のみのご聴講も事前の登録(無料)が必要です。大会webサイトからお申し込みください。

注意事項

◇大会会場(長野)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(長野)ご来場予定をお尋ねいたします。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇当日参加登録における年会費納入、会員資格の確認

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払状況を確認いたします。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要ですので、予めご確認ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいているweb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。

会員資格ならびに年会費支払状況に関するお問合せは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格にて参加登録される方は、本会2022年度(2022年3月～2023年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録後のキャンセル(返金)について

一度ご入金されますと、理由の如何を問わず一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできません。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は参加登録時にお申し込みいただければ、無料で郵送いたしますが、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を大会までに公開予定ですのでそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売いたします(大会参加者に対する価格：3,300円/個)。大会参加費には含まれておりませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ郵送いたしますが、第三期に参加登録をされた方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にwebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加されず講演要旨集のみのご購入を希望される場合は、本会会員は12,100円(税込・送料込)、本会非会員は23,100円(税込・送料込)で販売しております。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後になります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には講演プログラム集冊子（希望者のみ；お届けします）が含まれていますが、講演要旨集(USBメモリ；別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	第三期参加登録 (含む当日)	備考
化学工学会個人会員の方		
正会員	12,000円	不課税
シニア会員	8,000円	
永年会員	7,000円	
教育会員	7,000円	
学生会員	7,000円	
ジュニア会員	7,000円	
海外正会員	12,000円	
海外連携会員	12,000円	
海外学生会員	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等		
法人会員(*1)に属する社員	15,000円	不課税
懇話会会員	15,000円	
部会個人賛助会員	15,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	15,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員		
他学会の個人会員の方等		
共催学会の個人会員	15,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	12,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	7,000円	
(*2)AIChE: 米国化学工学会, CIESC: 中国化工学会, DECHEMA: ドイツ化学工学バイオ学会, KICChE: 韓国化学工学会, TwiChE: 台湾化学工程學會(略称アルファベット順)		
上記以外の方		
会員外	30,000円	課税税込

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	参加登録時同時購入	大会終了後別途購入
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個(税込・送料込)	12,100円/個(税込・送料込)
本会非会員		23,100円/個(税込・送料込)

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
京王観光(株) 東京中央支店
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
(担当者:土橋(どばし), イム, 國分(こくぶん))
TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
営業時間 平日10時~17時

◇その他に関するお問合せ
化学工学会 第53回秋季大会 実行委員会
E-mail: inquiry-53f@www3.scej.org

産学官連携センター

2022年度 開発型企業の会 第2回技術交流・WEB見学会 開催案内

主催 化学工学会 産学官連携センター 開発型企業の会

日時 2022年9月29日(木)15:00~17:00

会場 オンライン開催(録画は禁止しております)
見学場所 国立研究開発法人産業技術総合研究所 第5事業所(茨城県つくば市)

今回は、特集として産総研つくばセンターにて、見学会・技術交流会を開催します。産総研マテリアルプロセスイノベーション(MPI)プラットフォームでは、最先端の製造装置や評価・

分析装置群を整備し、マテリアル開発におけるプロセスデータの取得、技術シーズ開拓、人材育成に関わる機能を総合的に提供しています。今回は、産総研つくばセンターにて展開される先進触媒拠点(触媒自動合成装置, Integrated Continuous Manufacturingモジュール等)をご紹介します。

プログラム
14:45 Zoomミーティングオープン(以降、接続可能)
15:00 開会挨拶
15:10~16:15 ご講演「MPIプラットフォーム—先進触媒拠点における取組—」
触媒化学融合研究センターフロー化学チーム研究チーム長 甲村長利
16:15~16:30 休憩(MPIプラットフォーム(現

場)に移動)
16:30~17:00 MPIプラットフォームのWEB見学会(通信状況より録画放映の場合有り)
17:00~ 質疑応答(予定)

参加費 無料(WEB接続です。懇親会も有りません)

定員 100名

申込締切 9月16日(金)

参加申込 お名前、勤務先/所属部署、連絡先(所在地、Tel/Fax、E-mail)をE-mailでお送りください。

なお、定員を超えた場合はお断りする場合があります。

連絡先 公益社団法人 化学工学会 開発型企業の会 事務局

E-mail: kaihatugata@scej.org

部 会 C T

第23回反好会(反応工学部会若手会) 講演会(オンサイト・オンライン併用開催)

主催 化学工学会反応工学部会・反好会

第23回反好会講演会を化学工学会第53回秋季大会の前日にハイブリッド(オンサイト・オンライン併用)開催致します。各回、多くの皆様から好評いただいています。秋季大会への参加如何にかかわらず参加いただけます。ぜひお気軽にお越しください。化学工学系学生含め、多くの方のご参加をお待ちしております。

日時 2022年9月13日(火)15:00~17:40
場所 オンサイト:信州大学長野(工学)キャンパス
オンライン:Zoom
但し、新型コロナウイルス感染症の状況等によってはオンライン開催に変更の可能性が有ります。

プログラム
15:00~15:05 開会挨拶
15:05~15:50 「重質油やバイオマスの接触分解反応の解析における機械学習の利用」
信州大学 嶋田五百里氏
15:50~16:35 「超音波を用いたスコロダイトの合成とその応用」
秋田大学 大川浩一氏
休憩
16:50~17:35 「誰もが想像しないコロイド・界面の世界を拓く!」
信州大学 酒井俊郎氏

17:35~17:40 開会挨拶
参加資格 反応工学にご興味をお持ちの全ての方
参加費 無料
申込方法 「反好会HP」よりお申し込みください。
<http://www2.scej.org/cre/wakate/index.html>
申込締切 9月6日(火)
注意事項
★全ての発表の録画、録音および配布資料の無断での転載、複写、第三者への提供を禁止致します。
★懇親会は中止とさせていただきます。
★反好会HPからも情報をご覧いただけます。
問い合わせ先
反好会代表幹事 百瀬 健(東京大学)
E-mail: momo@dpe.mm.t.u-tokyo.ac.jp

材料化学システム工学討論会 2022(オンライン開催)

本討論会は、化学工学の視点に基づいて材料の構造・物性からデバイスとしての機能に至るまでの全体をシステムとして捉え、最先端の研究を行われている新進気鋭の研究者にご講演を依頼し、材料・界面部会の若手研究者を中心として「徹底的に」討論することを趣旨としています。これを通して、未来の化学工学に対する期待や夢を熱く語り、若手研究者の相互啓発とビジョン形成、将来に繋がるネットワーク構築を行うことも目指しています。昨年度はコロナ禍でオンライン実施になりましたが55名の参加者があり、活発な討論が交わされて盛会のうちに終えることができました。

残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染

症対策のために本討論会はオンラインで開催します。依頼講演3件、学生講演4件を予定しております。また昨年度に引き続き、反応工学部会と材料・界面部会の若手同士の交流促進のため、反応工学部会の若手会である反好会の講演会と本討論会とで、お互いの部会の若手が講演する機会を設けております。例年通り講演の一般公募は行いませんが、分野を超えた多くの若手研究者、学生の積極的な参加をお待ちしております。

日時 2022年9月26日(月)、27日(火)
開催方法 オンライン開催(Zoom)

プログラム
9月26日(月)
13:00~13:05 開会・集合写真(初日)撮影
13:05~13:10 材料・界面部会長(九州工業大学 山村方人 教授)挨拶
13:10~14:40 【依頼講演】「炭素繊維が描く未来と炭素繊維の未来」
岐阜大学(正) 入澤寿平氏
14:45~16:15 反好会との交流企画
【依頼講演】「高密度に均質な触媒活性点を持つ炭素担持金属触媒の開発」
京都大学(正) 藤埴大裕氏
(休憩)
16:25~17:05 【学生講演】「クリック反応を用いた生理活性分子のin situ導入可能な三次元培養システムの開発」
東京大学(学) 大木悠一朗氏
17:10~17:50 【学生講演】「電場印加により集積的規則運動が誘起されるコロイド配列体の光学特性制御」
東北大学(学) 波形 光氏

9月27日(火)
9:00~10:30 【依頼講演】「実験/計算/データの協働による水電解用触媒開発の高速化および結晶構造に基づく触媒設計論の確立」
東京工業大学(正) 菅原勇貴氏
10:30~10:35 集合写真(2日目)撮影
10:40~11:20 【学生講演】「様々な微細構造を有する出発原料を用いたゼオライトの合成及び解析」
東京大学(学) 佐田佑樹氏
11:25~12:05 【学生講演】「ゲート吸着材料を活用した新規吸着分離プロセスの構築」
京都大学(学) 坂中勇太氏
12:05~12:10 材料・界面部会 前会長(東京理科大学 庄野 厚 教授)挨拶
12:10~12:15 総括・閉会の挨拶

参加費 無料
参加方法 参加方法の詳細については、お申し込みいただいた方に個別にご連絡します。
申込締切 2022年9月21日(水)
申込方法 参加者のお名前、ご所属、連絡先(E-mail、電話番号等)をご記入の上、オンライン申込フォーム(<https://forms.gle/DuDZcDkLB9ShDwCBA>)または下記のQRコードからお申し込みください。
申込フォームをご利用できない場合はE-mailにて下記連絡先までお申し込みください。
なお、お申し込みにあたり、以下の事項に予めご同意ください。

<同意事項>
・録画録音等は一切禁止します。



・オンライン会議システムの環境構築はご自身で行ってください。
申込先 〒615-8510 京都府京都市西京区京都大学桂A4-021
京都大学 大学院工学研究科 化学工学専攻 引間悠太
TEL: 075-383-2696
E-mail: hikima@cheme.kyoto-u.ac.jp

2022年度 マイクロ化学プロセス分科会 講演会(対面形式)のご案内

主催 化学工学会 反応工学部会 マイクロ化学プロセス分科会
共催 未定

日時 2022年10月28日(金)13:00~16:45
場所 千葉大学西千葉キャンパス 工学系総合研究棟2 コンファレンスルーム
https://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/ JR 総武線各駅停車 西千葉駅より徒歩約5分

マイクロリアクターやフロー装置を利用した有機合成・材料製造プロセスの開発、および、関連するin situモニタリングやプロセス制御について、チュートリアルから最新の研究開発動向までを産官学の先生方にご紹介いただきます。対面での発表会です。皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム(一部変更の可能性が有ります)
12:30 開場
13:00~13:05 開会の挨拶
13:05~13:55 チュートリアル:フロー反応と装置制御・モニタリングの基礎
産業技術総合研究所 竹林良浩 先生
13:55~14:45 多相系フロー精密合成を指向した不均一系触媒の開発
東京大学 宮村浩之 先生
14:45~15:00 休憩
15:00~15:50 医薬品原薬の連続生産技術とそのプロセス解析技術
塩野義製薬(株) 細谷昌弘 先生
15:50~16:40 連続フロー生産に向けたプロセスモニタリング技術の適用
味の素(株) 中原祐一 先生
16:40~16:45 閉会の挨拶

申込方法 以下のGoogleフォームよりお申し込みください。
<https://forms.gle/ScDaUCnrHUUB3eB5A> (コピー&ペーストしてください)
申込締切 2022年10月14日(金) ただし定員(100名)に達し次第、締切とさせていただきます。
参加費 分科会員・協賛団体会員 6,000円、会員外 10,000円、学生 3,000円(税込)
支払方法 申込後1週間程度を目途に、銀行振込にてお支払いください。(ご要望は別途ご連絡ください。)
ゆうちょ銀行
店番: 138 普通預金: 0153846(他行から)
記号: 11360 番号: 01538461(ゆうちょ銀行から)
問合せ先 2022mcpce@gmail.com 宛に、「マイクロ化学プロセス講演会_問い合わせ」のタイトルとして、メールにてお問合せください。

地 域 C T



関 東 支 部

第54回 Continuing Education シリーズ講習会 「プロセス・インフォマティクス の基礎と産業への展開」 ー1日でわかるプロセス・ インフォマティクスの最新技術 と企業の活用事例ー

主催 (公社)化学工学会関東支部
協賛 (公社)化学工学会システム・情報・シミュレーション(SIS)部会 反応工学会部会 バイオ部会 エネルギー部会 材料・界面部会 安全部会 分離プロセス部会 化学装置材料部会 開発型企業の会、日本化学会、高分子学会、日本鉄鋼協会、日本表面真空学会、電気化学会、日本材料学会、表面技術協会、応用物理学会、日本物理学会、計測自動制御学会、システム制御情報学会、日本コンピュータ化学会、人工知能学会、日本バイオインフォマティクス学会、日本生物工学会、日本機械学会、触媒学会、触媒工業協会、日本金属学会、日本固体イオニクス学会、石油学会、有機合成化学協会、日本薬学会、日本薬剤学会、日本製薬工業協会、日本プロセス化学会、日本オペレーションズ・リサーチ学会、日本設備管理学会、分離技術会

データ駆動型材料開発の実現において、新材料の予測から試作を行うマテリアルズ・インフォマティクス(MI)だけでなく、目的材料の製造プロセスを効率的且つ統合的に探索する方法であるプロセス・インフォマティクス(PI)の産業への展開が重要になります。

本講習会ではPIに着目し、まず【第一部 基礎編】では、主に大学側講師からPIの基礎から要素技術、将来展望について解説します。【第二部 活用事例編】では、主に企業側講師からPIのプロセスへの活用事例を紹介します。PIに関連した幅広い話題、および企業における豊富な活用事例を1日で網羅する充実した内容となっています。

PIの基礎からソフトセンサー、リアルタイム監視と制御、計測インフォマティクスなどの幅広い話題、および企業におけるプロセスへの展開事例を1日で網羅する充実した内容となっています。化学メーカー・プラントエンジニアリングのみならず、材料・医薬・バイオ等のメーカーで勤務されるエンジニアや技術系管理職の方、また化学工学系の学生など、皆様のお申し込みをお待ちしております。

日時 2022年11月1日(火)9:30～17:30

開催形態 対面とオンラインのハイブリッド形式で開催します。

【新型コロナウイルス感染症の状況により、開催形態を変更することがあります】

会場 (対面) 早稲田大学 西早稲田キャンパス 55号館N棟1階大会議室
〒169-8555 東京都新宿区大久保3-4-1
アクセス: <http://www.waseda.jp/fsci/access/>
オンライン形式でご参加の場合、詳細はお申し込み後にご案内します。

プログラム

1. 開会の挨拶(9:30～9:40)
(東京工業大学)大友順一郎

【第一部 基礎編】

2. 講習会概要紹介、データ駆動が導く研究・開発・生産のパラダイム変革(9:40～10:10)
(奈良先端科学技術大学院大学)船津公人氏

3. ソフトセンサーの基礎(10:10～10:55)
(東京農工大学)金 尚弘氏

休憩(10:55～11:10)

4. 製品品質および製造プロセスを監視・制御するためのデータ活用術(11:10～11:55)
(京都大学)加納 学氏

質疑応答(11:55～12:15)

昼食(12:15～13:15)

5. 自律的材料探索システムが切り拓くマテリアルデジタルトランスフォーメーション(13:15～14:00)
(東京大学)一杉太郎氏

6. 半導体材料・デバイスにおける計測インフォマティクス(14:00～14:45)
(ソニーグループ(株)・東京工業大学) 富谷茂隆氏

質疑応答(14:45～15:05)

休憩(15:05～15:20)

【第二部 活用事例編】

7. マテリアルプロセスイノベーション(MPI)プラットフォーム:先進触媒拠点における取組(15:20～15:50)
(産業技術総合研究所)甲村長利氏

8. 三井化学におけるソフトセンサー実装の取り組み(15:50～16:20)
(三井化学(株))大寶茂樹氏

休憩(16:20～16:30)

9. 統計モデルを用いたアミノ酸発酵プロセス制御開発(16:30～17:00)
味の素(株)岩本康敬氏

質疑応答(17:00～17:20)

10. 閉会の挨拶(17:20～17:30)
(東京工業大学)大友順一郎

募集人数 120名

参加費 正会員(協賛団体含む)13,000円、法人会員18,000円、学生会員2,000円、会員外28,000円、サロンメンバー6,000円

※なお、それぞれの参加費には消費税・テキスト代が含まれます。

支払方法 受付後、参加証と共にお送りする振替用紙にて事前にお振り込みください。当日になつてのキャンセルの場合は参加費を請求させていただきます。

申込方法 2022年10月25日(火)までにWeb、メールまたはFAXにてお申し込みください。

・Web申込み

関東支部HP(<http://www.scej-kt.org>)の次回行事開催一覧の「Continuing Education 54」をクリック後、「参加申込みフォーム」をクリックするとフォームのウィンドウが開きますので、必要事項を記入の上、ご送信ください。

・Fax、E-mailによる申込み

下記関東支部事務局宛、「Continuing Education 54」と明記し、会社・学校名、参加者指名、所属部署、郵便番号、住所、電話、Fax番号、E-mailアドレス、会員資格、参加費請求書送付の必要の有無をご記入の上お送りください。

申し込み先 公益社団法人 化学工学会関東支部事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19 共立会館内

TEL: 03-3943-3527 FAX: 03-3943-3530

E-mail: info@scej-kt.org



東 海 支 部

第9回 初歩からの 化学工学数学演習講座 ～データ解析および時系列データ 分析の基礎～

主催 (公社)化学工学会東海支部
共催(予定) 静岡化学工学懇話会、他
協賛(予定) 電気学会東海支部、他

化学工学会東海支部では、反応・分離・輸送・エネルギー・環境・材料などに関する講座を開講し、製造現場、研究・開発に関わる人材の育成を目指しています。本講座では「データ解析および時系列データ分析の基礎」について事例を紹介しながら分かりやすく解説し、実験データやプロセスデータの整理・解析・予測のテクニックを習得することを目的とします。

データ解析には、統計手法を用いた数量化(統計解析、回帰分析)や多変量解析、数理モデルによるデータの2次加工などの知識が必要です。また、プラントの時系列データの分析は、プラントや補機の異常や劣化の予知などに利用できる可能性があります。

企業におかれましては、研究者のみならず生産管理や運転管理に関わる方々のスキルアップの機会としてご利用いただければ幸いです。

本年度もコロナ禍を考慮し、オンデマンド配信(音声付きスライド)による講義で実施します。

配信期間 2022年11月11日(金)10:00～12月9日(金)17:00

配信期間中は何回でも視聴できます。

講義資料(音声なしのpdfファイル)はE-mailで配信します。

質問は、配信期間中、E-mailで随時受け付けます。

プログラム

<第一部> 講師: 岐阜大学大学院工学研究科 教授 小林信介

1. 数量化の基礎(約60分)

実測定したデータの意味、取り扱い方および得られたデータが正しい値であることを評価する検定方法など、データ解析の基礎となる数値の取り扱い方について説明します。

2. データ解析の基礎①(約50分)

実測定した物理量をもとに統計解析や回帰分析をする際の基礎的事項を解説した後、市販ソフトウェアを使った事例(手順)を解説します。

3. データ解析の基礎②(約50分)

物質、熱、運動量の移動現象や化学反応に関わるプロセスデータを解析するための数学モデル(二次データ加工)について解説したうえで、重回帰分析と次元解析のテクニックについて、市販ソフトウェアを使った事例を紹介いたします。

<第二部> 講師: 静岡大学大学院工学領域 准教授 武田和宏

4. 時系列重回帰分析入門(約60分)

時系列重回帰分析の基礎的な理論について解説した後、市販ソフトウェアを使った事例を解

説します。

5. 時系列データ分析の進歩(約60分)

時系列データ分析は、自己回帰モデルなどの数理モデルを使用する方法やマシンラーニングを利用する方法があります。これらの手法の概要と実例を紹介します。

申込方法 化学工学会東海支部ホームページにアクセスし、「参加申込フォーム」からお申込み下さい。
<https://scej-tokai.org/>

聴講費(資料代・消費税を含む)

	第一部または第二部のいずれか	第一部と第二部
正会員	6,000円	10,000円
法人会員	10,000円	15,000円
会員外	20,000円	30,000円
学生	2,500円	5,000円

*共催・協賛団体会員も本会会員価格に準じます。

送金方法 現金書留または銀行振込

みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521
「公益社団法人化学工学会東海支部」
ゆうちょ銀行 名古屋 00880-7-5640「公益社団法人化学工学会東海支部」

申込・送金締切 2022年12月2日(金)

受講方法 申込・送金を確認できた後、受講手順と講義資料をE-mailで配信します。Webを閲覧できるデバイスで受講してください。

問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室
TEL: 080-4525-3070
<https://scej-tokai.org/>

**第56回 化学工学の進歩講習会
「脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来」**

主催 公益社団法人 化学工学会東海支部
協賛 (一社)資源・素材学会ほか予定

日時 2022年11月17日(木)、18日(金)
場所 IMYビル(名古屋市中区葵3-7-14, <https://kaigi-nagoya.com/>)
(交通)JR中央線 千種駅構内から地下通路を通り、地下鉄千種駅1番出口 徒歩1分
地下鉄東山線 千種駅1番出口 徒歩1分
開催方法 会場とZoomライブ配信を併用したハイブリッド方式

エネルギーや環境問題が深刻化の中で、マテリアル研究も個々の特性や組織に関する詳細な研究と併せて、使用廃棄も含めた物質循環システム全体を俯瞰、統合し、部分系相互の関わりを考える思考が必要である。今回の東海支部主催の「第56回化学工学の進歩講習会」では、2022年4月1日より施行された「プラスチック資源循環促進法」など、3R(Reduce, Reuse, Recycle)の促進が求められており、脱炭素社会に向けて進化するリサイクル技術の現在と未来に関する技術を採り上げ、講義、紹介すると共に、それらを俯瞰、体系化することにより、21世紀に向けたマテリアルの研究開発の在り方を問う。多くの方の参加をお待ちしています。

- 第1日目 11月17日(木)
0. 開会の辞(10:00~10:05)
(静岡大学・東海支部支部長)福原長寿氏
1. 脱炭素に向けた地域づくり(10:05~11:05)
(環境省中部地方環境事務所)曾山信雄氏
2. 中部電力グループの再エネ拡大に向けた取り組みとバイオマス発電の開発状況(11:05~12:05)
(中部電力)内野大介氏
3. 地域バイオマス×地域経済循環(13:00~14:00)
(ビオクラシックス半田)猪飼幸輝氏
4. カーボンニュートラルを支える炭素繊維(14:00~15:00)
(東レ)山口晃司氏
5. 脱炭素を目指す持続可能な社会におけるプラスチックの循環利用法(15:10~16:10)
(早稲田大学)加茂 徹氏
6. JFEプラリソース(株)のプラスチックリサイクルについて(16:10~17:10)
(JFEプラリソース)高岡利夫氏
- 第2日目 11月18日(金)
7. カーボンニュートラル・デジタル化を見据えた廃棄物処理・資源循環システムの展望(10:00~11:00)
(早稲田大学)小野田弘士氏
8. 環境とエネルギー、そしてリサイクル(11:00~12:00)
(守富環境工学総合研究所・岐阜大学名誉教授)守富 寛氏
9. 炭素繊維強化プラスチックの現状と、資源循環から見たリサイクル技術の課題(13:00~14:00)
(岐阜大学)入澤寿平氏
10. 動・静脈産業を繋ぐプラスチックリサイクル(14:00~15:00)
(東北大学)吉岡敏明氏
11. FCC廃触媒を用いた廃プラスチックの接触分解プロセス(HiCOP)の開発(15:10~16:10)
(環境エネルギー)谷 春樹氏
12. 高温高圧水中でのプラスチックの分解挙動(16:10~17:10)
(東北大学)渡邊 賢氏
13. 閉会の辞(17:10~17:15)
(三菱ケミカル・東海支部副支部長)石羽 恭氏

定員 200名(会場定員:45名, Zoomライブ配信定員:155名)
※ビデオ会議ツール「Zoom」ライブ配信での参加の場合の推奨環境については、当該ツールをご参照ください。Zoomウェビナーで参加の方には申し込み締め切り後、視聴用のURLを別途メールにてご連絡いたします。注意事項は、別途参加申込者に連絡されるメールよりご確認ください。
※会場参加者にはメールにて参加証をお送りいたします。参加証は当日ご持参下さい。

参加費 (資料代・消費税を含む)
化学工学会正会員:30,000円,
化学工学会法人会員社員/共催・協賛団体(個人・法人)会員:35,000円,
化学工学会学生会員/共催・協賛団体会員:5,000円, 会員外:70,000円
申込方法 下記ホームページ「進歩講習会」にアクセスし、「参加申込フォーム」にてお申込み下さい。
<https://scej-tokai.org/>
申込締切 2022年11月4日(金)
送金方法 現金書留, 銀行振込, または, 郵便振替(ゆうちょ銀行)
銀行振込:みずほ銀行 名古屋支店 普通預金 No.1055521
公益社団法人化学工学会東海支部

郵便振替:名古屋00880-7-5640 公益社団法人化学工学会東海支部
問合せ先 〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 生命・応用化学科 化学工学研究室
公益社団法人 化学工学会東海支部
TEL:080-4525-3070
E-mail:info@scej-tokai.org

関西支部

**第2回ものづくりプロセス基礎講習シリーズ
「バイオ技術者のための実践基礎講習(オンライン)」**

主催 近畿化学協会
協賛 化学工学会関西支部, 同バイオ部会 ほか
日時 2022年10月27日(木), 11月1日(火)
開催方法 WEB配信(オンライン/Zoom)

- プログラム**
- 1日目【10月27日(木)(13:00~17:30)】
(テーマ1)微生物・酵素のものづくり
1. 微生物による生産プロセス導入のススメ
(関大化学生命工)片倉啓雄氏
 2. 生体触媒(酵素・微生物)の産業的利用
(阪公立大院工)荻野博康氏
 3. 種々の発酵製品と生産技術開発
(カネカ)神田彰久氏
 4. 化学工学的アプローチによるバイオものづくりの実践
(花王)浦川大樹氏
 5. 三菱ケミカルのバイオものづくり
(三菱ケミカル)渡辺文昭氏
- 2日目【11月1日(火)(13:00~17:15)】
(テーマ2)医薬・細胞のものづくり
1. (基調講演)動物細胞を用いたバイオ医薬生産の基礎から応用まで
(阪大院工)大政健史氏
 2. 生きた細胞を製品とするための細胞製造性を考慮した製造設計の考え方
(阪大院工)水谷 学氏
 3. 抗体・幹細胞製造におけるデジタル設計支援に向けたプロセスシステム工学
(東大院工)杉山弘和氏
 4. 動物細胞培養によるものづくり
(MAB組合)村上 聖氏

定員 80名<各回>(定員になり次第締切)
参加費 主催・協賛団体会員(1日のみ)13,000円,(2日通し)23,000円, 大学・官公庁職員(1日のみ)5,000円,(2日通し)9,000円, 学生(1日のみ)3,000円,(2日通し)5,000円, 会員外(1日のみ)20,000円,(2日通し)37,000円(いずれもテキスト代・消費税含む)
申込方法 第2回ものづくりプロセス基礎講習シリーズのHP(<https://kinka.or.jp/event/2022/mono-process2.html>)からお申込みください。参加費は、銀行振込(三井住友銀行備後町支店普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)をご利用ください。(振込手数料は参加者でご負担願います)
申込先 一般社団法人近畿化学協会
〒550-0004 大阪市西区本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL:06-6441-5531 FAX:06-6443-6685
E-mail:seminar@kinka.or.jp



中国四国支部

2022年度 基礎化学工学講習会

主催 中国地区化学工学懇話会
協賛 広島大学フェニックス協力会

日時 2022年9月27日(火)～29日(木)
*3日間の科目は日単位で選択できますが、2日間以上の受講とします。
会場 広島大学工学部 117講義室およびB4-002 化学工学実験室
〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1
TEL: 082-424-7718

対象 大学・高専・高校などで化学工学を専攻していない方が主な対象です。大学2年生程度を想定した講習会テキストを用い、化学工学の基本となる項目について、理論も交えながら詳説する丁寧な講義と内容の理解を助ける演習問題に取り組むことにより、化学工学の基礎知識を修得することを目的とします。本年度は2日間に亘る講義のほかに、講義内容のエッセンスを取り入れた実験実習を1日開講いたします。実習では、座学ではイメージしにくい部分を実際に観察・測定し、デー

タ解析や現象の解釈を通じて講義内容の理解を深めます。

講義内容
第一日目 基礎編 9月27日(火)9:30～18:00(工学部117講義室)
9:30～12:00 化学工学量論
矢吹彰広氏(広島大学)
12:50～15:20 流動論
木原伸一氏(広島大学)
15:30～18:00 伝熱論
萩 崇氏(広島大学)
第二日目 応用編 9月28日(水)9:30～18:00(工学部117講義室)
9:30～12:00 反応操作
中井智司氏(広島大学)
12:50～15:20 蒸留操作
滝島繁樹氏(広島大学)
15:30～18:00 腐食・防食
矢吹彰広氏(広島大学)
第三日目 実習編 9月29日(木)9:30～16:30(工学部B4-002 化学工学実験室)
・連続精留 滝島繁樹氏(広島大学)
・定圧ろ過 福井国博氏(広島大学)
・流速分布と流量及び摩擦損失 久保 優氏(広島大学)
・伝熱係数 萩 崇氏(広島大学)

参加費(消費税、テキスト・補助資料代を含む)

社当たりの参加者	2名まで(1名当たり)	3名以上(1名当たり)
会員(企業)	25,000円	20,000円
会員外(企業)	40,000円	
大学・官公庁	15,000円	

*3日間に亘る講義・実習の中で、2日間のみを受講をご希望の方は下記申込先までお問い合わせ下さい。

なお、実習では課題により、人数調整させて頂く場合があります。

定員 24名(実習が伴うため、例年よりも少ない定員です)

申込締切 9月9日(金)

申込方法 氏名、勤務先、所属、連絡先(所在地、TEL、FAX、E-mail)、希望する日、希望する実習名(希望順位も記載)、送金予定日を明記し、FAXまたは電子メールにて下記宛にお申込下さい。参加費は銀行振込(もみじ銀行西条支店普通預金1058275 中国地区化学工学懇話会)にてお支払い下さい。申込締切日以降に、参加証とテキストを送付いたします。

申込先 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1
広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会
TEL: 082-424-7718 FAX: 082-424-5494
E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp
HP: <https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>